

[学習会]



# 低周波音による健康影響と 石狩湾新港周辺風力発電3事業の影響評価

稼働・建設中および計画中の巨大風車による低周波音と健康影響について学びます。石狩市民が知るべき安全に暮らすための基礎情報です。

1月1日からエコ・パワー（株）の石狩湾新港風力発電所の営業運転が開始されました。北海道初となる3300kW風車は花川北中学校、花川生協、花畔などから、回転しているのがよく見えます。この巨大風車2基の稼働が、今後私たちにどのような影響をひきおこすか、大変心配されています。この春からは（株）市民風力発電の石狩コミュニティウインドファームの建設が再開され、秋には3200kWの巨大風車7基がさら近隣に姿を現します。また自然豊かな銭函海岸にも3400kW風車10基の建設工事が始まっています。欧州ではこれら3000kW級風車は健康影響・景観上の問題から、数十Km沖の洋上でなければ、建設が認められません。多くの工業団地事業所、住宅密集地に近接して林立する巨大風車群の影響を、皆さま是非ごいっしょに学びましょう。ご参加をお待ちしております。

◆時間 平成30年3月11日（日）10時～12時

◆場所 花川北コミュニティセンター（石狩市花川北3-2）

☎0133-74-6525

◆講師 田鎖順太氏（北海道大学大学院工学研究院助教）

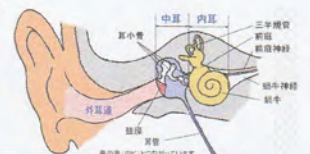
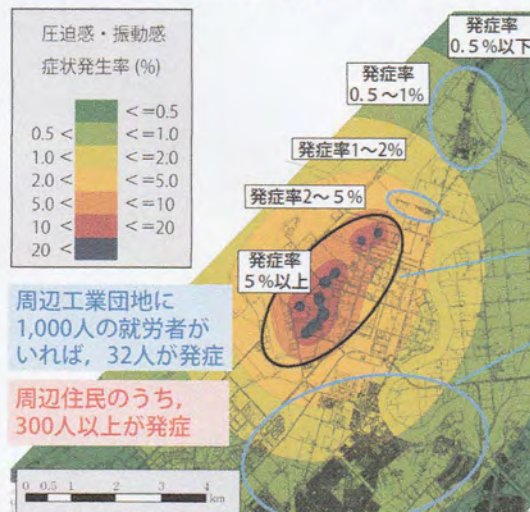
◆費用 300円  
（資料代）

主催・問い合わせ：  
石狩湾岸の風力発電を  
考える石狩市民の会

安田（0133-74-6198）

<http://windturbine.lbcc-alumni.jp/index.shtml>

圧迫感・振動感の症状発生率マップ  
（石狩コミュニティウインドファーム）



内耳の「前庭」で圧迫感・振動感を知覚し、睡眠障害や、めまい・頭痛・肩こり等が生じる。

- 工業団地で、極めて高い発症率。
- 南側住宅地で1%（100人に1人）以上の発症率。
- 「圧迫感・振動感」よりも「気になる」率は、さらに高い。

[北海道大学松井利仁教授作成の図を元に石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会が編集]